



茨城県八千代町

# 青少年海外派遣団



# in ベトナム



## あいさつ



八千代町がラックズオン県と友好都市協定を結んでから、約3年が経ちました。その間、いつか子どもたちが国を越えて直接触れ合う機会を持てたらと願い、準備を重ねてまいりました。今回、その第一歩が実現したことは、町にとっても大きな喜びです。

学生たちにとって、日本とは異なる文化や暮らしにふれ、若く、エネルギーに溢れるベトナムで過ごした数日間は、かけなえのない一生の財産となることでしょう。この貴重な経験をきっかけに、子どもたちが視野を広げ、人として成長し、将来の可能性を広げていってくれることを、心から願っています。

令和7年5月 八千代町長 野村 勇

## 派遣期間

令和7年3月26日（水）～31日（月）

## 派遣先

ベトナム国ラムドン省ラックズオン県  
およびホーチミン市



## 団員名簿

相川 真依（大学4年） 飯山 朱莉（高校2年） 染野 結生（高校2年） 高木 琉偉（大学4年）  
武井 志帆（高校2年） 高嶋 汐夏（高校2年） 土堂 簾弥（大学3年） 樋口 夏帆（高校2年）

## スケジュール

日程	主な活動内容
3月26日（水）	八千代町役場出発→17:20 リエンクオン空港着／ナイトマーケット散策
27日（木）	ダラット大学日本語学科の学生との交流／クーラン村で少数民族文化体験
28日（金）	ランビヤン高校との授業体験・学生交流／Zoodoo 動物園見学／ダラット市内散策
29日（土）	ホーチミン市内散策／戦争証跡博物館見学／ベントイン市場等散策
30日（日）	クチトンネルでの平和学習／タンソンニャット空港到着
31日（月）	タンソンニャット空港発→10:30 八千代町役場到着



# 参加者 インタビュー



国土館大学  
4年

たかぎ るい  
高木 琉偉

——第1期生としてベトナムへの青年派遣団として参加しましたが、派遣前、派遣団についてどう考えていましたか？また派遣先のベトナムについてどんなイメージでしたか？

町が行う事業なので真面目な感じをイメージしていたんですけど、いざ参加してみると、担当者や、参加者の方が優しくて面白い方たちでした。皆のおかげでこの旅が楽しくなりました。また、ベトナムについて、正直、日本より発展していない国なのかな。っていうぐらいのイメージしかなかったです。海外旅行ってなってもハワイなどの英語圏や韓国、台湾などしか考えたことがなかったの。

ダラット大学  
日本語学科の学生と  
交流



——確かに、ベトナムに行こうとするきっかけは、なかなか無いかもしれませんね。そんな中で参加してくれたわけですが、事前研修では、ベトナム語の研修がありましたか？

小学生の頃から外国語は英語しか触れてこなかったんで、ベトナム語は思ったより発音が難しく、わからないことも多かったです。

——発音難しいよね。もうベトナム語忘れちゃった？

シンチャオ（こんにちは）とトイテンラ（私は～です。）しか覚えてないです。笑

——最終研修では皆でバインミー（ベトナムサンドイッチ）を食べましたが、どうでしたか？

食べましたね。人生初のベトナム料理でした。元々ちょっとエスニック系料理が苦手意識あったんですけど、バインミーに関しては全然食べれましたね。

事前研修で  
タピオカドリンクと  
バインミーを実食



——事前研修を終えて、現地に出発します。まずホーチミンに到着後の第一印象をおしえてください。

暑い。そして人が多い。そして国内線空港まで走った。今は新国内線ターミナルができて、もう走ることはないと思うと、みんなで走ったのも良い思い出ですね。

——ナイトマーケットはどうでしたか？

まず、ダラットの気候が涼しくて過ごしやすかったですね。ナイトマーケットは人が多く、ご飯や、フルーツ、食べ歩きできるストリートフードが沢山あって楽しかったですね。服も「こんなところで売るんだ。」って思って見に行っちゃいました。人は多かったんですけど、強引に声をかけてくる人もいなかったの、歩きやすかったし面白かったですね。

ナイトマーケットで  
お買い物



——ナイトマーケットまでは皆で歩きましたが道路の渡り方どうでしたか。

いやいや、これ大丈夫か。って思いました。歩道ないところを車の間を縫うように歩きましたからね。これがベトナムか。って思いました。すぐに慣れましたけど。

歩行者信号が  
少ないので注意して  
横断します



——2日目からは早速、学生交流を行いました。積極的に交流していたように見えたのですが、大学生、高校生との交流はどうでしたか？

大学生と交流して思ったのは、すごく話しかけやすかったですね。日本語を学んでるので向こうからも色々話してくれて、ベトナム語も教えてもらって楽しく会話した印象が残ってます。高校生との交流はスマホ使って翻訳してコミュニケーションとりました。高校生もすごいフレンドリーに接してくれて、蒸しパンを手作りして用意してくれたり、歓迎してもらって嬉しかったです。手作りのプレゼントには驚きましたよね。もっと交流したいと思いました。

ランビヤン高校で  
授業体験・学生交流



——ホーチミンへ戻って、平和学習や選択学習を行いました。印象に残っていることを教えてください。

戦争証跡博物館ですね。日本では普段、あまり博物館とかに行かないのですが、全部見入ってしまいました。写真もあってより理解できました。ありのままの写真は衝撃的でしたが、これが真実なんだなと思いましたし、昔ってすごい時代だったんだと思いました。

戦争証跡博物館で  
平和学習



——高木君には聞いておかなければならない事があるんだけど、最終日の夜、ホーチミンの路上で「アンマー」を歌ったのは本当ですか？

ホテルの前が歩行者天国になって、明るくて、めっちゃめちゃ人がいて、すごい活気があって。面白そうなのでみんなで行って写真撮ったり、マック行ったりしました。そこで人が並んでるところがあって行ってみたら、歌えるよみたいな事言われたんです。せっかくだから歌いました。



歌い終わった後、  
とある出来事が…

——なかなか無い経験だね。最初に聞いた時びっくりしました。

でも、さらにびっくりすることがあって、歌い終わったら料金請求されたんです。そのお金渡す相手が、小学4年生ぐらいの子どもだったんです。私は弟がいるので、「これ自分の弟がやってるようなもんだ。」って思って。子どもがこうやって夜10時ぐらいに外でお金稼いでる現実にショックを受けました。また自分がいかに恵まれた環境で生きてきたかをこの派遣でより感じました。



役場庁議室で  
派遣終了の報告

——これは今回の派遣団のなかでも高木君にしかできない経験だったね。派遣の前と後でベトナムへのイメージは変化しましたか？

最初は危ない国なのかなって感じはしたんですけど、いざ行って見て、いろんな所に行かせてもらったり、なんかいろんな経験させてもらって、思った以上に皆さん店員さんも含めていい人が多く、ご飯も美味しくて、本当にこれから僕が海外行くなってなったらベトナムも選択肢に入るぐらい楽しい国だな。って思いました。今度は自分のお金で来たいですね。

——参加を検討している学生にメッセージをお願いします。

学生の頃にしかできない経験ですし、迷ってるなら参加した方がいいと思います。自分のために。後々経験として生きてくると思います。



ベトナムの  
学生たちと  
ハイチーズ！

ちなみに…

プロフィール画像の  
高木さんが着ている  
ベストは、  
ベトナムの少数民族  
「K'ho族」の  
民族衣装





筑波大学

4年

あいかわ まい  
相川 真依

はじめに、ベトナムへの青少年派遣初回というとても大事な事業にご採用いただき、貴重な体験の機会を与えてくださったことに深く感謝申し上げます。今回、私がこの派遣事業へ参加するにあたり、申込書には日本という国あるいは八千代町単位でベトナムとの共通点・相違点を見つけ異文化理解を図りたいと記載しました。それに則って振り返りたいと思います。



ベトナムに着いてからまず気になった点は、街並みです。ラックズオン県は街中至る所が草木で溢れており、田畑に囲まれのどかな八千代町と似た様相でした。一方で、ダラット市内は昼も夜も賑わいを見せ、まるでつくばのような少し都会の雰囲気を感じられました。また、現地で頂いたご飯は野菜がたくさん盛り合わせられており、農業が盛んであることを窺えました。これも八千代町との共通点の一つですね。ベトナムは東南アジアに位置するため、多くの方が暑い印象を受けると思います。しかし、ラックズオンの気候は穏やか

で、朝晩は涼しく、昼間は少し暑く、と日本の春頃の気候に似て過ごしやすかったです。



これは現地で交流したランビヤン高校の生徒が教えてくれたのですが、ラックズオンの一日の中には四季が存在すると言われているようです。朝は春、昼は夏、夕方は秋、夜は冬と1日で四季を感じられる、そんな風情ある土地でした。さすがにホーチミンは想像通りに暑く、一足先に今年の夏を体験しました。



高校の地理の授業で、その土地の気候は、現地に住む人々の文化や食べ物に大きな影響を与えると言ったことを思い出しましたが、確かにベトナム料理は辛い・甘い味付けが多く、舌でもベトナムが暑い国であることを感じました。料理の味付けには必ずと言っていいほど唐辛子が入っており、チリソースはいつもテーブルの上であって、コーヒーはデフォルトで砂糖が入っている、など

食文化の違いがよく現れていました。でもそれらが嫌という訳ではなく、むしろ現地で食べた全ての食事が私の口に合っていたので、ベトナムに住んでも良いと思うほどベトナム料理がさらに好きになりました。

今回のメインであった、地元の高校生・大学生との交流でも共通点と違いを探し、同時にとても良い刺激を受けました。大学4年生は本当に日本語が達者で、完全に日本語での意思疎通ができたことに感動しました。実際に1年生の日本語の授業を受け、日本語が母国語である私たちにとってはその学び方が新鮮に感じたとともに、反対に日本語の文法について気付かされることが多々ありました。覚え歌もあり、どの国も異なる言葉を習得する方法が似通っているのだなと思いました。



ランビヤン高校では、授業見学の予定と聞いていたのになぜかグループに参加することになり、高校生たちと一緒に前へ出て発表しました。物理の内容で、たまたま知っていたから良かったものの、内心ハラハラしながら発表したのは今となっては良い思い出です。日本の学校で見られる授業風景とは違い、生徒は積極的に発表するなど素晴らしい態度だったのが印象的でした。日本人がいかに内向的であるかを感じさせられ、高校生からもあなたはとても内向的ね、と凶星を突かれました。



私は以前にも海外経験があり、その時に人として一つ殻を破れたと思っていましたが、私にはまだまだ破らなければいけない殻が存在するようです。しかし、今回の経験もまた、私を成長させてくれたことに間違いはありません。

私はこれから就職活動が始まるのですが、何事にも臆せず、能動的に挑戦していきたいです。





下館第一高等学校

2年

しいやま しゅり  
飯山 朱莉

私にとって今回のベトナム研修は、定期的に写真を見返すくらい楽しくて思い出深いものです。ベトナムで刺激をもらったり、日本との文化の違いを感じたりしたのはもちろんなのですが、このメンバーと一緒にいたことが研修に参加してよかったなって思う一番のポイントです。一日ごとのみんなとの思い出を書いていきます。



一日目は、乗り換えのホーチミンに着いてから時間がギリギリで、バタバタな状態でタケイ（武井志帆）とチャムと空港を駆け抜けました。一足先に感じる夏の気温にテンションが上がっているときに、私は中国人の女性に話しかけられました。現地のベトナムの人たちと話す前に、中国人と触れ合ってしまったて悔しかったです。その日の夜は高校生女子5人で同じ部屋で寝ました。カホ（樋口夏帆）は普段10時ごろには寝る習慣があるみたいなのですが、私たちに頑張っつきあってくれたのか、ただ寝れなただけなのかは分かりませんが、深夜までずっとわちゃわちゃしていました。私の部屋に集まったのにもかかわらず、四人

は勝手に分割し、省いてきて最悪でしたが、良いベトナムスタートでした。



二日目はダラット大学を見学させていただきました。大学生と交流する際、ユイちゃん（染野結生）のモチモチさに圧倒されました。あの染野結生に集まった大学生たちの嬉しそうな顔は忘れられません。次の日の高校見学も結生ワールドになるのではないかと、恐怖で怯えました。日本文化を体験しようということで、カルタをみんなでやりました。ドウトウ（土堂簾弥）と同じチームで試合をしたのですが、ビリだったので心外です。またコテージでは先輩（相川真依）と同じ部屋で、ベッドが別だったので、寂しくて一緒に寝ようと誘ってみました。ですが、先輩は嫌そうな表情を一切浮かべずに断ってきました。ツンデレで可愛いです。みんなと夜バーベキューをしてから、折り紙訓練をしました。へびを折るのに苦戦しているユイちゃんやドウトウ、ゲムムキ（高木琉偉）を見下しながら飲む水は美味しかったです。





三日目のランビアン高校見学では、案の定ユイちゃんはモチを存分に発揮し、交流を満喫している様子でした。高校生たちは私とセナ(高嶋汐夏)に気を遣って、毎回毎回ベトナム語を日本語にGoogle翻訳をしてくれてたのですが、化学を知らない私たちは日本語を読んでも理解できなくて申し訳なかったのですが、全てわかってるような顔をしてカッコつけてました。その後の動物園ではオーストラリア人のおじさんとグッチ(おじさんのレトリバー)と出会いました。すごく良い匂いでした。この日の夜も高校生女子で一つのベッドに寝ることになり、今回はみんな優しくして私も仲間に入れてくれたのですが、横に5人で寝るのは本当に狭くてちゃんと寝れていなかったと思います。



四日目はホーチミンに戻って戦争博物館に行きました。高校で世界史選択の私は、普段から時の戦争について考える機会がありますが、ユイちゃ

んとタケイとたくさん実際に撮られた写真や模型を見て、言葉に表せない気持ちになり、顔を見合わせながら無言で歩いてました。夜はホテル前の歩行者天国で、ワクワクしているドウトゥとゲムキについていきながら遊びました。場を沸かせたゲムキの歌声はとてまかっよかったです。

五日目はノンラーの絵付け体験をしました。全員の似顔絵を描こうと少し練習をして臨んだのですが、描く絵は決められていました。絵の先生は一番クリエイティビティだと褒めてくださり、良い気分でした。クチトンネルはすごく暑かったけどそれ以上に感じるものや学べるものがあった楽しかったです。この日の空港ではアメリカ人のウニ漁師さんと出会い、カホと私と3人で荷物検査の待ち時間を英語での会話で過ごしました。意外と聞き取れるし話せることを実感して嬉しかったのを覚えています。

もっとみんなでベトナムにいたかったです。





竹園高等学校

2年

そめの ゆい  
染野 結生

Xin Chao ! 4泊6日のベトナム滞在は、私にとって特別な思い出となりました。その中で印象深かった出来事についてお話したいと思います。

ダラット大学では、日本語学部の学生たちに大学を案内してもらったり、一緒に昼食を食べたりしました。みんなとても友好的で、たくさん話しかけてくれたことが本当に嬉しかったです。日本について紹介する中で、現地の学生たちも彼らのことやベトナムの文化、食べ物、そしてその発音の仕方などを教えてくれて、とても興味深く楽しい時間を過ごすことができました。また、「名探偵コナン」などの日本のアニメが好きな学生もいて、日本文化が海外で愛されていることを実感しました。

ことわざかるたをした際には、日本のことわざを説明したり、ベトナムのことわざと比較したりすることでお互いの文化をより深く理解することができたと思います。



ランビヤン高校では、英語や翻訳アプリを使いながら現地の学生と授業を受けたり、一緒に折り紙でヘビを折ったりしました。学生たちは折り紙に興味を持ち、とても楽しんでくれました。最後に、クラス全員が作ってくれたカラフルなたくさんのミニ鶴のプレゼントをしてくれました。そのことにとても感動しました。交流前の飛行機の中や前日の夕食であるバーベキュー後に折り紙合宿をしたことも楽しい思い出です。



短い間の交流でしたが、学生たちは「日本に行きたい」「また会いたい」と言ってくれてとても嬉しかったです。さらに、インスタを交換した学生もいて、帰国後もトークをするなど仲を深めることができました。本当に楽しく、あっという間な時間でした。今すぐ、またみんなに会いたいです。



ベトナム航空のCAさんや交流した女子高生の制服がアオザイだったので私はこの体験をとても

楽しみにしていました。ホーチミンでは、ベトナムの民族衣装であるアオザイをレンタルして観光名所を巡りました。民族衣装に加えベトナム風ヘアメイクもしてもらい、いつもと違う気分で街を散策できました。ピンクの教会として有名なタンディン教会や、ベトナム最大の郵便局であるサイゴン中央郵便局でおしゃれな写真を撮ってもらいました。ガイドさんがとても明るく、現地の文化なども教えてくれたので有意義な時間を過ごすことができました。



大学や高校、お店の人々は皆フレンドリーで、笑顔が素敵でした。その明るさに触れ、幸せな気持ちになりました。また、バイクの交通量が多く道路を渡るのが大変だったこと、人々の多さや夜でも賑やかな様子がとても印象的でした。食べ物もとても美味しく、マンゴーやアボカドスムージーが特に気に入りました。朝食ビュッフェではベトナム料理を中心に、初めての味にたくさん楽しむことができました。



買い物では、初めて値切り交渉をしたり、桁数の多いベトナムドンの会計に戸惑ったりしましたがどれも新鮮な経験でした。

この6日間は、とても楽しく充実しており忘れられない思い出となりました。今でも写真を何度も見返しており、本当に参加して良かったと思いました。プライベートでも必ず訪れます。このような貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

Xin Cam on!





古河第三高等学校  
2年

たけい しほ  
武井 志帆

今回のベトナム派遣はとても貴重なものになりました。

私が印象に残っているのはベトナムの街並みです。ベトナムでは車よりもバイクの利用率が圧倒的に多いようで、滞在期間でも実際に道を通ったりしていく中で実感することが出来ました。加えて日本では車の方が多かったり、道を渡る時も停車してくれるのを待つので、ベトナムで道を強行突破するのは不安感と高揚感があり、とても新鮮でした。



また、学生交流では現地の大学生や高校生と実際に交流し、言語の壁を実際に体験しました。ラビアン高校では実際に学生の皆さんと現地の授業を共に受け、翻訳機を使ったり、身振り手振りで授業内容を説明してくれ、少しずつ内容を理解することが出来ました。また原子核をクラスで発表し合ったことで、緊張がほぐれ、全力で楽しみました。さらに交流として折り紙で蛇を折りましたが、前日にみんなで練習した成果もあり、学生

のみんなに上手に教えられ、お手本も上手く作れました。特に海外の方と交流する機会がないため、滅多にない体験で楽しかったです。

ダラット大学では、日本語を話せる学生が多くて、一緒に遊んだ「体の不思議カルタ」は交流を深められ、ことわざカルタの試合は現地の学生の活躍で優勝することができ、より親しい関係になれました。大学見学でも、積極的に話しかけてくれ、魅了を沢山知ることが出来ました。現地の大学や高校は日本と違い、教諭との距離が近く斬新に感じました。



Zoodoo 動物園では日本の動物園よりも動物と触れ合える機会が多くあったり、日本では見られないめずらしい動物も見れ、新鮮でした。待機時間にあったボスやグッチとも沢山話することができ、海外にきた実感がわき、とても楽しかったです。





夜はみんなでBBQをしたり、コテージで過ごしたり、5人で1つのベットに寝たり、普段は体験出来ない旅ならではの過ごし方で、とても幸せでした。特に、1つのベットに4人が寝ることが今まで無かったので、新鮮でもあり、少し窮屈でした。また、夜お話をしていたため、睡眠が少なく、移動時間は寝ていることが多かったのが印象的です。

料理では、本場のベトナム料理や家庭料理、中国料理などの色々な国の料理を食べることができていい経験になりました。ベトナム料理でもパンや主食、野菜多めのおかずがあり、味が日本とは全く違い、戸惑いつつも、口に合う食事が多く、とてもいい経験として残りました。



今回の機会を通して、自分の経験値を増やし、将来への道筋を立てることができました。また、今までは感じられなかった言語の壁を実際に感

じ、英語がとても大切だと分かりました。そして、経験したことを学校の友達や、先生などに話すことで現実味をもったベトナムのいい所を広めることが出来ました。

上記以外にもクチトンネルやベンタン市場、ナイトマーケット、ノンラー体験など、現地でしか味わえない体験ができ、今回のベトナム青少年派遣団に参加して良かったなと思いました。





境高等学校

2年

たかしま せな  
高嶋 汐夏

私は今回の青少年派遣でたくさんの思い出が出来ました。

1日目はベトナム空港につき、バスでダラットに行き夜ご飯で初めて現地の食事を食べました。基本的に味付けの癖が強くて私には合いませんでした。1番おいしかったのは Mi Xào (ミーサオ) という日本で言う焼きラーメンのようなものです。夜はナイトマーケットに行き、怪しい出店がいっぱい並んでいて海外に来たという実感が湧きました。Kẹo chi hông というココナッツやわたあめの様なものがケバブのように挟んであって甘いお菓子を食べました。日本にはないようなお菓子で新鮮でした。夜は一人一部屋ずつのホテルだったのですが、5人で1部屋で泊まりひとつのベッドにみんなで寝たことがとても楽しかったです。



2日目はダラット大学に行きました。ダラット大学では日本語を勉強している学生と交流をし、授業を少し見学しました。お昼はパン屋さんに行

行っていい意味で開放的な環境に晒されたパンを食べました。パンはあまり日本とは変わらず私の口に合いました。その後かるたをしました。ことわざのかるたでみんなで試合をしました。



午後はクーラン村に行き現地の遊びを体験したり建物の違いを感じられました。自由に過ごしている馬がいる空間で写真を撮ったりブランコに乗ったりしました。こんなに身近に馬がいることがないのでマインクラフトみたいで楽しかったです。夜はコテージに泊まり大きな蜘蛛やヤモリがいて自然を感じられました。夜は自然豊かな空間でBBQをしました。



3日目は朝から Mi Quang (ミークワン) というベトナム人気の中部麺料理を食べました。黄色で太く歯ごたえのある平麺でパクチーや香草が入っているのか日本では食べた事がない様な癖のある味でした。朝食を食べたあとはランビアン高校に

行き化学の授業を受けました。高校では大学とは違い言葉が通じず翻訳機を使って交流をしました。みんな優しく日本から来た私たちを歓迎してくれました。その後ダラットのお偉いさんとご飯を食べ、通訳さんを通してお話をしました。午後はZoodoo動物園に行きカンガルーと呼ばれるワラビーやラマ、アルパカ、アライグマ、ミーヤキヤット、ワオキツネザルなど日本ではなかなか出会うことが出来ない日本では珍しい動物にふれあうことができました。



4日目は朝食でビーフンを食べました。飛行機に乗ってホーチミンに行きベトナム戦争証跡博物館を見学しました。実際に使われたヘリコプターや戦車、戦闘機がありました。博物館の中では戦争時の実際の写真が飾られていて時代背景を学ぶことが出来ました。その後、ベトナム市場にいき現地のお土産を値下げ交渉をして購入しました。言語が通じない中で交渉するのは難しかったけれど良い体験になりました。



5日目は朝からベトナムの有名なお皿屋さんに行き個性的なデザインお皿が沢山ありました。アオザイ体験では好きなアオザイを選び着用してサイゴン中央郵便局やタンディン協会、ホーチミン市役所など有名な観光地に行き写真を沢山取りました。色鮮やかなアオザイだったので写真がととも映えました。日本ではなかなか出来ない経験だったのでとても印象的でした。

この4泊6日の研修で様々な伝統や文化を学ぶことが出来ました。今回の経験を活かして外国の方と交流していきたいです。





弘前大学  
3年  
どとう れんや  
土堂 簾弥

今回のベトナム研修では、現地の大学生や高校生と日本語を通じて直接交流することができ、異なる文化への理解をより深める貴重で有意義な体験となりました。特に印象に残っているのは、ダラット大学で実際に日本語の授業に参加したときの出来事です。私自身が日本の大学で受けている授業と比較して、学生たちの授業に対する真剣な姿勢や、積極的に学ぼうとする前向きな雰囲気がとても新鮮に感じられました。クラス全体が集中しながら一体感を持って授業に臨む姿勢は、日本語を学ぶことに対する強い意志の表れであり、私も学ぶ者として見習うべき点が多くあると感じました。



また、高校では現地の高校生たちと一緒に折り紙を折ったり、授業に参加したりする機会がありました。言葉の壁がある中でも、折り紙という共通の手作業を通して心を通わせることができ、自然と笑顔が生まれて短時間で打ち解けることができましたのはとても印象的でした。言葉が通じなくて

も、協力し合いながら一つのことに取り組むことで、気持ちはしっかりと通じるのだと実感しました。彼らの日本語学習に対する姿勢や、こちらの言葉に真剣に耳を傾けようとする態度に触れ、言語や文化を互いに学び合うことの楽しさと尊さを深く感じました。



さらに、ベトナム戦争に関する講話を聞く中で、戦争が人々の暮らしに与えた影響や、そこからの社会の復興・発展について考える機会も得ることができました。歴史を知ること、現在の平和の大切さやその背景にある人々の努力に思いを馳せることができ、過去を忘れず未来へ活かすことの重要性を実感しました。



観光の時間には、ベトナムの街並みに直接触れ、日本とは異なる文化的背景や生活の様子を五感で味わうことができました。特に印象的だったのは、現地の食文化です。ベトナム料理には新鮮な野菜

が多く使われており、私自身も野菜が好きなので、思わずたくさん食べてしまいました。その結果、お腹を壊してしまい少し苦い思い出となりましたが、現地の食を通して文化を体験できたのは良い思い出です。



また、活気あふれる市場やナイトマーケットでは、多くの方が笑顔で買い物を楽しんでおり、地域の温かさや活力を感じることができました。色鮮やかな建物や、バイクが交通手段の大部分を占めている様子、そして信号がほとんど機能していないように見える独特の交通事情など、どれも日本では見ることのない景色ばかりで、とても新鮮に感じました。



この研修を通して得た新たな価値観や学びは、今後の自分自身の成長に大きく役立つと確信しています。異なる文化や社会の在り方に触れることで、視野が広がり、国際的な視点から物事を考え

る力が養われたと感じています。これからも積極的に海外の文化や価値観に触れる機会を持ち、将来の進路や人生に活かしていきたいです。そして、今回訪れたベトナムだけでなく、世界のさまざまな国や地域にも足を運び、多くの人々と出会い、学びを深めていきたいと強く思っています。





岩瀬日本大学高等学校  
2年  
ひぐち かほ  
樋口 夏帆

私は海外に行ったことは何回かありましたが、ベトナムは初上陸だったのでワクワクしました。今回の経験から、たくさんのことを学ぶことができ、とても楽しかったです。



1番印象に残っていることは、ダラット大学とランビアン高校での交流です。ダラット大学の学生のみなさんは、日本語を学んでいたの日本語で会話が出来ました。また、大学で日本語の授業を受けることができたのでとても新鮮な気持ちになりました。みんなでカルタをやったことで、学生のみなさんとより仲良くなることが出来た気がしました。「身体の不思議かるた」は私たちの知らない身体の不思議もあってとてもいい学びになりました。そのかるたに出てきた不思議をみんなで実践してみると本当にできないことが多く、面白かったです。

身体の不思議かるたが終わってから、ことわざ

のかるたをやりました。ことわざかるたは大会だったのでチームのみんなと一致団結して戦いました。そのため、チームのみんなとの絆が深まった気がします。ランビアン高校では、ベトナム語で化学の授業を受けました。私が習っていた所だったので、とても分かりやすかったです。



高校のみなさんとは英語で会話をしました。私たちの英語の能力よりはるかに上をいっていて少し難しかったけど、スマホの翻訳アプリなどを使いながら上手に会話をすることが出来ました。みんなの前に出て英語で発表をしたりして私達も授業に積極的に参加することが出来てとても貴重な経験になりました。

また、折り紙でへびを作りましたが、折り方の説明をするのが難しかったので大変でした。ですがお土産を貰ったり、写真を撮ったりしてとても楽しい思い出が出来ました。





高校に行った後に動物園に行きました。私が行ったことのある日本の動物園とは違く、動物との距離がとても近かったです。動物の檻の中に入って餌をあげたり、触ったりしました。アルパカは思っていた以上に人懐っこくて、餌を持っているとすぐによってきて怖かったです。ですが、逆に面白かったです。ミーアキャットを抱えて一緒に写真を撮ることができていい思い出になりました。アライグマなどの珍しい動物がいて新感覚でした。



ホーチミン市では、八千代町にいるベトナムの方々がよく被って農作業をしているノンラーの絵付け体験をしました。日常生活でよく目にするものだったので絵付けをしている時に親近感が湧きました。主な絵は今年のベトナムの干支であるヘビでしたが、その周りには自分なりに色々かいてとても良いノンラーになりました。

ベトナム料理は日本の料理と味が結構違かったのでビックリしました。日本では見たことのない料理や食べたことのない味がたくさんありました。ベトナム料理にはパクチーなどの日頃あまり食べないものが入っていて味が新感覚でした。

最後に、私は今回の経験を活かして学校の友達などにベトナムの良さをたくさん教えてあげたいと思います。

